

雌阿寒岳

1 概況(平成14年5月)

今期間は静穏に経過しました。長期的に見ると時々地震が増加し火口の温度は高温を維持するなど火山活動は高いレベルが続いています。

2 地震活動の状況

火山性地震の増加や火山性微動はありませんでした。地震回数は1日あたり0~2回と平常レベルで推移しました。

月別地震・微動回数(B点)

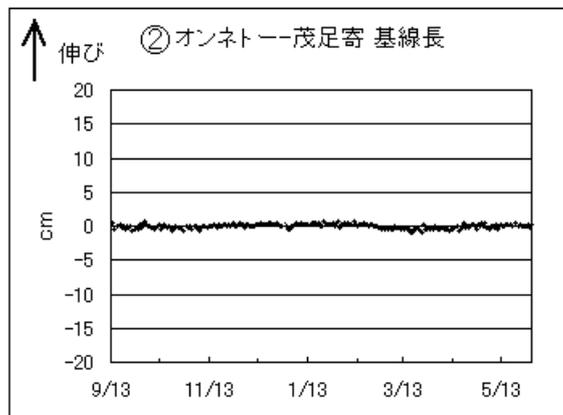
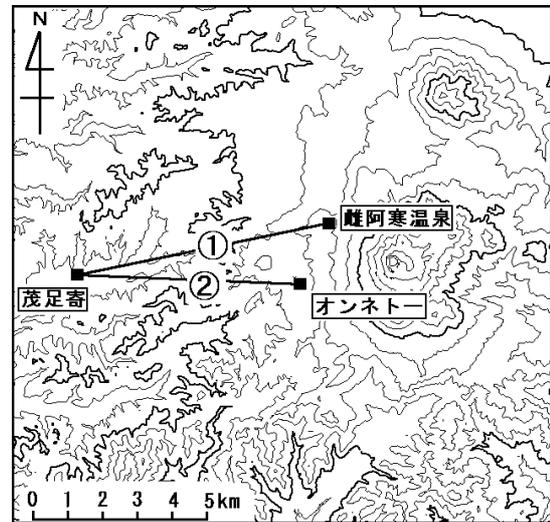
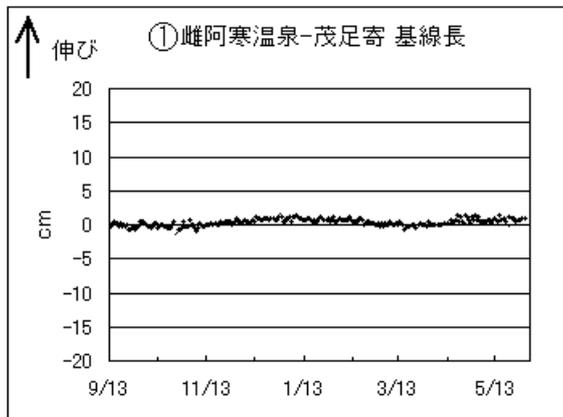
平成13~14年	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
地震回数	58	181	242	53	29	56	18	21	39	204	17	11
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0

3 噴煙活動の状況

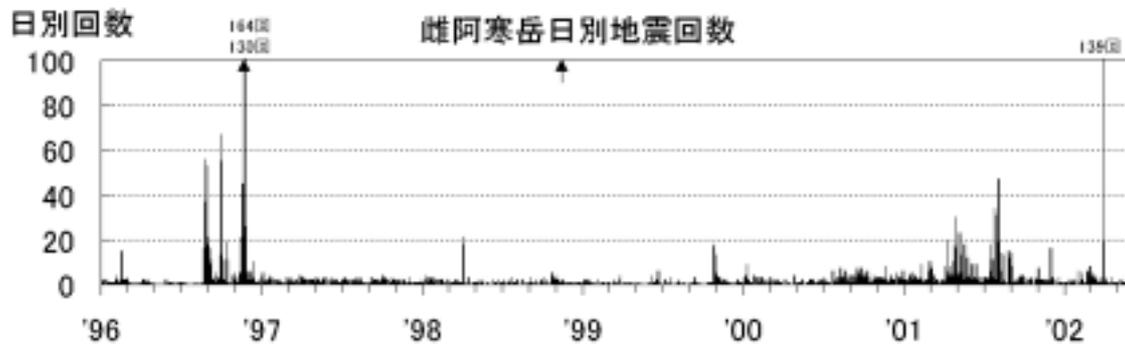
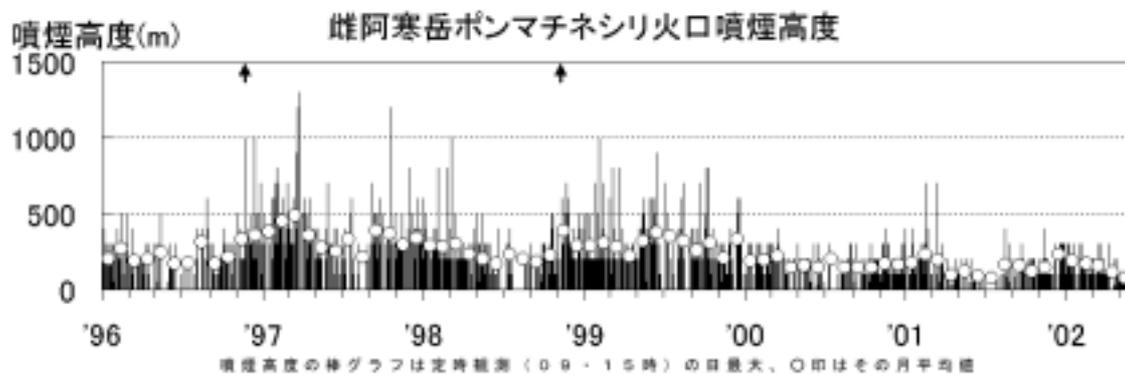
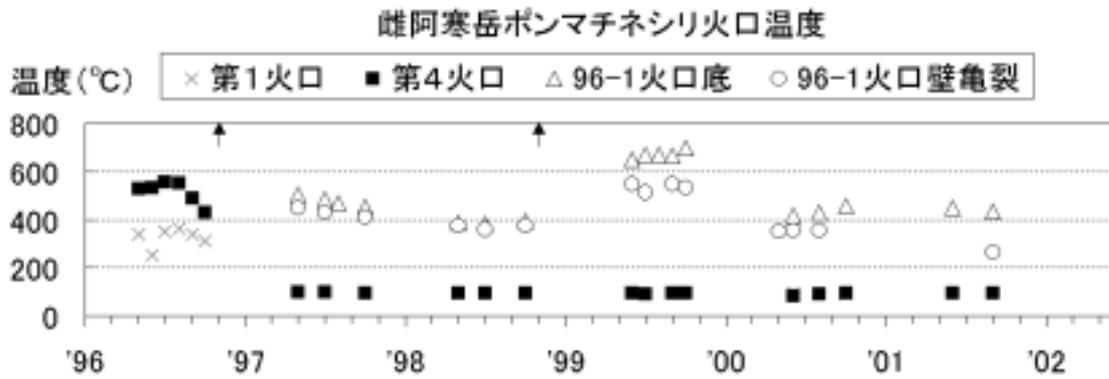
ポンマチネシリ96-1火口の噴煙高度は平常と変わりなく火口上50~200mで推移しました。その他の火口についても特別な変化はありませんでした。

4 地殻変動の状況

G P S観測では、火山活動に起因すると考えられる特別な変化はありませんでした。



雌阿寒岳基線長グラフ(2001年9月13日~2002年5月31日)



雌阿寒岳火山活動経過図(1996年1月1日~2002年5月31日) 印は噴火